

2024 年度HYC 競技規則 兼 帆走指示書

HYCレース部会

1. 適用規則

2021-2024年度国際セーリング 競技規則、2024年度HYC
競技規則及び当該レース帆走指示書による。規則優先度は、先の逆とする。

2. 日程及びスタート時刻

8月25日(日) 予告信号 11:00

出艇を確認する為、出艇をした艇は本船後ろを横切り参加する旨を伝えて下さい。
その際にその日のコースを同時にお伝えいたします。予告信号前の報告をお願い致します。

3. 帆走すべきコース及びマーク

コース : 別紙コース図参照のこと

マークブイ: 数字の「1」が記載されたマークが1マーク

数字の「2」が記載されたマークが2マーク

アウトサイドマークは円筒形のプラスチックのブイ

4. 本部船

本部船には、黄色旗を展開する。

5. スタートライン

本部艇のポールに掲げた黄色旗とアウトサイドマークを結ぶ線とし、本部艇を右側に見てスタートする。

6. フィニッシュライン

本部艇のメインマストと礫島北側の鳥居を結ぶ線をフィニッシュラインとする。

7. スタート信号

スタート5分前 予告信号 HYC旗掲揚・音響信号1声

スタート4分前 P旗掲揚・音響信号1声

スタート1分前 P旗降下・音響信号長音1声

スタート HYC旗降下・音響信号1声

7. エンジンの停止

準備信号（P旗を掲揚）までにエンジンは停止していなければならない。

8.スタート時刻のリミット

スタート信号後15分を経過した後は、スタートは認められない。

9.個別リコール

スタート信号時にリコール艇が存在した場合、音響信号1声と共に本部艇にX旗を掲揚する。X旗の降下は、リコール艇すべてがリコールを解消するか、または、スタート後4分経過の、いずれか早い方とする。

10.ゼネラルリコール

1) リコール艇を特定できない場合、あるいは、スタート手順に誤りが有った場合には、音響信号2声と共に本部艇に第1代表旗を掲揚し、ゼネラルリコールとしてスタートをやり直す。新しいスタートの準備信号は、音響信号1声を伴う第1代表旗の降下の1分後に発せられる。

11.フィニッシュ

本部艇のメインマストと礫島北側の鳥居を結ぶ線をフィニッシュラインとし、礫島を左側に見てフィニッシュラインを通過すること。

12.タイムリミット

タイムリミットはトップ艇フィニッシュ後90分とする。

13.スタート時刻の延期

スタート時刻を延期する場合は、本部艇にて音響信号2声と共に回答旗（AP旗）を掲揚する。新しい予告信号は、回答旗(AP旗)の降下の1分後に発する。

13.コースの短縮

コースを短縮する場合は、本部艇またはコミッティボートがフィニッシュ・マークに代える回航マークの付近で、音響信号2声と共にS旗を掲揚する。この場合、当該回航マークとS旗を掲揚したポールとの間をフィニッシュ・ラインとする。

13.コースの変更

コースを変更する場合（マークの移動または代替えマークの使用）は本部艇またはコミッティボートにて反復音響信号と共にC旗を掲揚し、次のレグのコンパス方位、必要な場合は代替えマークの識別方法を示す。

14.レースの中止

天候その他の事情によりレースを中止した場合には、本部艇またはコミッティボートにて音響信号3声と共にH旗の上にN旗、またはA旗の上にN旗を掲揚する。

15.リタイア

リタイアしようとするヨットは、速やかにレース海面を離れなければならない。この場合、リタイアの意味を本部艇に報告しなければならない。

16.抗議

抗議しようとする艇は、最初の妥当な機会に相手艇に対して「プロテスト」と声を掛け、赤色旗を掲げ、フィニッシュ後一時間以内にレース委員長に進言しなければならない。

17. 規則違反に対するペナルティ

RRS第2章（艇が出会った場合）の規則違反に対しては規則44.1及び44.2に規定された2回転ペナルティ、また、規則31（マークとの接触）の違反に対しては、規則44.1及び44.2に規定された1回転ペナルティの履行により違反の解消が出来る。

18.Y旗

各競技者は衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、個人用浮揚用具（ライフジャケット）を着用していなければならない。

19.安全

レース艇は、必要な安全備品を搭載し、乗員の安全を計らなければならない。
尚、スタートするかしないか、又レースを継続するかしないかを決めるのは、各艇の責任である。

20. レーティング

H Y C 2 に基づく別紙 T C F による。

20. 連絡先

本部 TEL:053-578-1114 ヤマハマリーナ浜名湖（担当：中村、高山）